

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 アルメタックス株式会社

コード番号 5928 URL <http://www.almetax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 引間龍治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 生川聖一

TEL 06-6440-3851

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	7,469	△29.5	372	△10.2	439	△1.7	249	△4.7
21年3月期第3四半期	10,590	—	414	—	447	—	261	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	21.66	—
21年3月期第3四半期	22.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	9,297	7,182	77.2	624.73
21年3月期	8,973	6,947	77.4	604.27

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,182百万円 21年3月期 6,947百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△22.7	210	△8.4	230	△12.8	120	50.7	10.43

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当期第3四半期累計期間における営業利益、経常利益、四半期純利益の各利益項目が、事業環境の好転及び総コスト抑制策等の実施により、平成21年5月13日発表の平成22年3月期の通期業績予想の数値を大きく上回る結果となっております。現在、第4四半期会計期間における経営環境を勘案した平成22年3月期における通期業績予想を、精査中であります。精査の結果、通期業績予想の修正が、必要と判断される場合は、あらためて公表いたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

〔注〕 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	11,912,515株	21年3月期	11,912,515株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	416,040株	21年3月期	415,453株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	11,496,711株	21年3月期第3四半期	11,538,328株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等には様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)における当社の経営成績は、アルミビレット鑄造事業(素材部門)の製造及び販売を平成21年6月1日より1年間を目処に一時的に休止したこと等により、販売高の減少を余儀なくされました。

その結果、第3四半期累計期間の売上高につきましては、住宅建材部門で73億9千1百万円(前年同四半期累計期間84億5千1百万円、△12.5%)、素材部門で7千8百万円(前年同四半期累計期間21億3千9百万円、△96.4%)となり、合計で74億6千9百万円(前年同四半期累計期間105億9千万円、△29.5%)となりました。

利益面につきましては、住宅建材部門の受注量が期初に予想したものに比べ増加したこと、又、全社的に総コスト圧縮を計ったこと等により、当第3四半期累計期間において期初に公表した通期業績予想を大幅に上まわる結果となりました。

当第3四半期累計期間の営業利益は3億7千2百万円(前年同四半期累計期間4億1千4百万円、△10.2%)、経常利益で4億3千9百万円(前年同四半期累計期間4億4千7百万円、△1.7%)、四半期純利益は2億4千9百万円(前年同四半期累計期間2億6千1百万円、△4.7%)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

資産合計は、前事業年度末に比べて3.6%増加し、92億9千7百万円となりました。

これは、主に、現金及び預金が1億6千万円増加したこと、受取手形及び売掛金が4億3千9百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品における棚卸資産評価損の計上並びに棚卸資産の在庫圧縮により1億4千2百万円減少したこと、有形固定資産における建物他各償却資産の純額が減価償却の進捗等により6千9百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べて4.4%増加し、21億1千5百万円となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金が2億3千5百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が返済により8千5百万円減少したこと、未払法人税等が6千万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて3.4%増加し、71億8千2百万円となりました。

これは、主に、当第3四半期累計期間純利益の計上による2億4千9百万円の増加及び平成21年6月25日定時株主総会決議にかかる配当金並びに平成21年11月10日取締役会決議による中間配当金の支払いによる9千1百万円の減少により利益剰余金が差引1億5千7百万円増加したこと、当第3四半期累計期間末のその他有価証券評価差額金が7千7百万円増加したことによるものであります。

第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは3億2千1百万円(前年同四半期累計期間4億7千9百万円)、投資活動によるキャッシュ・フローは1千6百万円(前年同四半期累計期間△1億7千8百万円)、財務活動によるキャッシュ・フローは△1億7千7百万円(前年同四半期累計期間△2億6百万円)となり、現金及び現金同等物は、14億5千5百万円となり、前年同四半期累計期間末に比し9千3百万円の増加となりました。

引続き、総費用の抑制に努め収益力の強化を図る方針です。

3. 業績予想に関する定性的情報

当期第3四半期累計期間における営業利益、経常利益、四半期純利益の各利益項目が、事業環境の好転及び総コスト抑制策等の実施により、平成21年5月13日発表の平成22年3月期の通期業績予想の数値を大きく上まわる結果となっております。

現在、通期業績予想については、平成21年5月13日発表の平成21年3月期決算短信に記載しました平成22年の通期業績予想に記載したとおりですが、第4四半期会計期間における経営環境を勘案した平成22年3月期における通期業績予想を精査中であります。精査の結果、通期業績予想の修正が必要と判断される場合は、あらためて公表いたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

3. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算出方法による概算額で計上する方法によっております。

4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,455,015	1,294,248
受取手形及び売掛金	2,912,240	2,472,766
商品及び製品	149,433	227,592
仕掛品	11,738	19,136
原材料及び貯蔵品	466,893	524,239
その他	199,366	231,597
貸倒引当金	△2,570	△2,157
流動資産合計	5,192,117	4,767,424
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,128,332	1,168,860
土地	1,495,482	1,495,482
その他(純額)	333,412	362,538
有形固定資産合計	2,957,227	3,026,881
無形固定資産		
	14,049	17,049
投資その他の資産		
投資有価証券	500,256	515,828
関係会社株式	443,698	392,758
その他	202,647	266,526
貸倒引当金	△12,531	△12,538
投資その他の資産合計	1,134,071	1,162,574
固定資産合計	4,105,347	4,206,506
資産合計	9,297,465	8,973,930
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,416,295	1,180,331
1年内返済予定の長期借入金	—	85,000
未払法人税等	9,460	70,102
賞与引当金	94,005	145,000
その他	249,761	212,088
流動負債合計	1,769,523	1,692,522
固定負債		
退職給付引当金	96,576	79,633
その他	249,148	254,421
固定負債合計	345,725	334,054
負債合計	2,115,248	2,026,577

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160,418	2,160,418
資本剰余金	2,584,533	2,584,553
利益剰余金	2,641,342	2,484,284
自己株式	△104,741	△104,650
株主資本合計	7,281,552	7,124,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,654	△53,263
土地再評価差額金	△123,990	△123,990
評価・換算差額等合計	△99,335	△177,253
純資産合計	7,182,216	6,947,352
負債純資産合計	9,297,465	8,973,930

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	10,590,717	7,469,965
売上原価	8,897,616	5,897,800
売上総利益	1,693,101	1,572,165
販売費及び一般管理費	1,278,970	1,200,096
営業利益	414,130	372,069
営業外収益		
受取利息	1,284	323
受取配当金	29,668	20,858
仕入割引	12,725	6,901
助成金収入	—	41,463
その他	6,575	6,241
営業外収益合計	50,253	75,789
営業外費用		
支払利息	3,612	771
売上割引	7,347	5,844
支払手数料	5,451	1,217
その他	741	176
営業外費用合計	17,152	8,010
経常利益	447,232	439,847
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,206	6
投資有価証券売却益	7,748	472
投資事業組合運用益	—	1,893
特別利益合計	13,954	2,372
特別損失		
固定資産除却損	3,728	2,754
投資有価証券評価損	1,936	4,418
その他	176	—
特別損失合計	5,841	7,172
税引前四半期純利益	455,345	435,047
法人税、住民税及び事業税	173,000	93,600
法人税等調整額	21,152	92,414
法人税等合計	194,152	186,014
四半期純利益	261,193	249,033

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	455,345	435,047
減価償却費	173,194	155,645
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,926	406
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,493	△50,995
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26,990	16,943
受取利息及び受取配当金	△30,952	△21,182
支払利息	3,612	771
有形固定資産除却損	1,649	2,754
無形固定資産除却損	2,078	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,748	△472
投資有価証券評価損益(△は益)	1,936	4,418
売上債権の増減額(△は増加)	△227,947	△433,146
たな卸資産の増減額(△は増加)	122,133	138,394
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△19,017	△13,138
仕入債務の増減額(△は減少)	150,647	185,463
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,795	2,571
その他の流動負債の増減額(△は減少)	43,912	38,576
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,300	△4,250
その他	△4,403	△3,093
小計	667,508	454,714
利息及び配当金の受取額	30,952	21,182
利息の支払額	△3,321	△944
法人税等の支払額	△215,540	△153,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	479,599	321,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△193,292	△88,092
無形固定資産の取得による支出	△1,899	—
固定資産の除却による支出	△1,216	—
投資有価証券の売却による収入	10,075	93,253
関係会社株式の取得による支出	△2,298	△774
長期貸付金の回収による収入	1,890	810
その他の収入	8,838	11,270
その他の支出	△215	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,117	16,466

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△85,000	△85,000
配当金の支払額	△128,119	△91,524
自己株式の処分による収入	—	63
自己株式の取得による支出	△92,708	△175
その他の支出	△432	△973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,260	△177,609
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	95,221	160,766
現金及び現金同等物の期首残高	1,266,250	1,294,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,361,471	1,455,015

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。